

令和 7 年度 議会機能向上推進委員会 検討経過

令和 8 年 3 月 26 日現在

1. これまでの議会改革の経過（抜粋）

月日	内容	備考
H16.6.18 ～ H17.12.28	議会活性化検討会 全 14 回	➤議会の役割と権限、運営に関することを検討 ➤広報広聴活動の充実を検討 ➤議員及び事務局職員の調査、政策立案、法制能力の向上について検討 ➤その他議会改革に関することを検討 ・議員定数について 自立のときは議員削減が必要（議員定数問題特別委員会の設置を議長に要望）
H17.2	伊南市町村合併不成立	
H17.6.7 ～ H18.12.21	議員定数問題特別委員会 全 21 回	➤定数 15（H19.4 施行）を検討 ➤3 常任⇒2 常任について検討 ➤予算・決算特別委員会設置を検討
H19.4	改選	➤議員定数 21 名から 15 名へ ➤3 常任委員会から 2 常任委員会へ ➤予算、決算特別委員会設置へ
H23.4	改選	➤議員定数 15 名 ➤2 常任委員会 ➤予算、決算特別委員会
H23.9.28 ～ H26.9.26	議会機能強化推進検討委員会 全 26 回	➤議会改革について検討 ➤一般質問における「一問一答・対面方式」を検討⇒本格実施 ➤議会報告会について検討 ⇒H24.5.15 第 1 回開催 ➤委員会審査について検討 ➤議会基本条例検討分科会⇒条例制定へ ➤政務活動費検討分科会⇒検討継続 ➤常任・特別委員会分科会⇒2 常任から 3 常任へ（複数所属、予算決算特別は廃止） ➤意見交換会について検討
H26.12.17	議会基本条例制定	提案は議会運営委員会
議会基本条例では、市政の発展や市民の生活と福祉の向上に寄与するために、次の 2 つの推進に努めることを定めた。 ①「開かれた議会」として、市民との情報共有及び市民参加を推進。市政が直面する問題等を市民に明らかに示し、議会の議論の中に市民意見を反映する仕組みを構築する。 ②「言論の府」及び「立法の府」として、徹底した議論及び政策提言を行う。議員間の討議を活性化するとともに、議論を尽くした上で多様な意見を集約し、政策提言及び政策立案を行う。 以降、議会基本条例に基づき、各活動に取り組んだ。		
H27.4	改選	➤議員定数 15 名 ➤2 常任委員会から 3 常任委員会（委員会複数所属）へ ➤予算、決算特別委員会は廃止

H28.3.4 ～ H29.1.26	議会機能向上推進委員会 全 10 回	➤委員会設置要綱検討 ➤市議会会議規則改正検討 ➤広報広聴委員会設置要綱検討 ➤議員アンケート実施 ➤各種協議会、委員会の位置づけ確認 ➤政策形成等フロー作成 ➤地方創生対策特別委員会設置（H28.9～全 7 回、H29.3.21 市長へ提言書を提出） ➤HP の議員情報拡充検討 ➤常任委員会視察方法検討 ➤タブレット端末導入検討 ➤議会事務局の体制検討 ➤市議会傍聴規則改正検討
H29.6.14 ～ H30.2.23	議会機能向上推進委員会 全 6 回	➤事業評価について検討 ➤事業評価検討会設置（H29.10.5～全 6 回） ・事業抽出基準、スケジュール検討 ・H29.12.20「議会事業評価検討会における評価及び要望等について」を市長へ提出 ➤常任、特別委員会について検討⇒検討継続 ➤ICT 検討部会設置⇒検討継続 ➤政務活動費について検討⇒検討継続
H30.5.18 ～ H31.1.25	議会機能向上推進委員会 全 5 回	➤前年度事業評価の振り返りと H30 年度事業評価について検討。メインテーマを「人口減少問題に関する施策」とし、サブテーマの「子育て」「交流人口増」毎グループを編成し実施 ➤常任、特別委員会について 2 部会設け検討し、全体で集約。総務産業・教育民生建設委員会、予算決算特別委員会に改める方向で一致 ➤政務活動費について検討⇒検討継続 ➤ICT 部会にて、TB 導入やグループウェア、HP、議会中継について検討
H31.4	改選	➤議員定数 15 名 ➤3 常任委員会から 2 常任委員会へ
R1.6.24 ～ R2.3.16 【令和元年度】	議会機能向上推進委員会 全 5 回	➤事業評価について ・総務産業：地域公共交通の確保、防災体制の充実 ・教育民生建設：エルシステマ事業、道路改良維持舗装事業、健康づくり習慣の普及 ・12.27「事業評価における要望・提言書」を市長へ提出 ➤ICT 部会 ・タブレット端末導入、LINE、スケジュール管理アプリ等の活用検討 ・議場等への情報通信機器持込規程検討 ・動画配信について検討⇒3 月定例会より YouTube による一般質問録画配信をスタート。

R2.6.9 ～ R3.3.4 【令和2年度】	議会機能向上推進委員会 全4回	➤傍聴規則の改正 一般席において傍聴することが困難である者及びその介護者が指定場所（議場）での傍聴を可とする改正 ➤事業評価 ・総務産業：6次産業化事業、テレワーク推進事業 ・教育民生建設：福祉企業センター事業 ・12/2「事業評価における要望・提言書」を市長へ提出 ➤ICT等の推進 ○情報通信機器持込規程 議場等への情報通信機器の持込に際し規程を制定 ○一般質問録画配信 前年度に引き続き、YouTubeによる録画配信を実施 ○タブレット端末導入検討 タブレット端末の導入検討を進め、既に導入している伊那市議会の視察を実施 ○オンライン会議の運用 ・Web会議ツール「Zoom」を使用しオンラインによる全員協議会を実施 ・オンラインによる委員会・会議等が開催できるよう、会議規則等の改正を実施 ○電子メール・LINEの活用 効率的な連絡手段として、電子メール・LINEを使用することを基本とし、電子メール及びLINEを利用した公文書等の送受信に関する規程を制定
R3.6.1 ～ R4.3.10 【令和3年度】	議会機能向上推進委員会 全10回	➤議会基本条例の検証 これまでの議会活動が条文の目的を達成しているかどうかについて、条例施行後、初めて検証を実施。 ➤政務活動費の導入検討 会派及び議員の調査・研究等の活動基盤の充実を図るため政務活動費について検討し、令和4年4月からの導入を決定。 ➤ICT等の推進（ICT部会） ・タブレット端末導入検討（導入検討セミナー実施、運用規程案検討他）→令和4年度中導入予定 ・電子メールの活用とLINEWORKSの試行 ➤会議規則改正 本会議や委員会への欠席事由等の明文化及び請願に係る押印規定の見直しを行うため、会議規則を改正。 ➤事業評価 ・対象事業 総務産業：公設地方卸売市場事業、観光事業 教育民生建設：児童福祉総務管理事業、子育て家庭教育事業、社会福祉総務管理事務事業、自立支援事業 ・試行的に事業評価シートを使用 ・11.16「事業評価における要望・提言書」を市長へ提出 ➤請願・陳情等の取扱い要領の改正 陳情・要望の区分を見直し、要領を改正。
R3.10～R4.3	議会基本条例評価・検証	R3.10/11～10/31 各議員による評価・検証 R3.11/1～11/22 各会派による評価・検証 R3.12～R4.2 議会機能向上推進委員会による評価・検証 R4.3/16 議長へ報告書を提出（ホームページにて公開）
R4.4～	政務活動費制度導入	R3.12 政務活動費の交付に関する条例及び施行規則制定 R4.3 政務活動費マニュアル策定

R4.4.21 ～ R5.3.30 【令和4年度】	議会機能向上推進委員会 全10回	➤議会基本条例の検証 検証結果に基づき見直しを行い、「政務活動費の有効活用と使途の説明責任」についての条文を追加し改正を行うとともに、第29条の見直し時期の逐条解説部分に「任期中に見直しする」との文言を追加。 ➤政務活動費制度 条例・マニュアルに基づいた適正な運用を図り、状況に応じてマニュアルの内容について検討。 ➤ICT等の推進（ICT部会） ○タブレット端末及びペーパーレス会議システムの導入 議会・議員活動の活性化・効率化やウィズコロナに対応した新しい生活様式の実践を図るため、タブレット端末（SurfacePro8）及びペーパーレス会議システム（moreNOTE）を導入。R5.2月臨時会及び3月定例会において試行運用。R5年度からの本格運用を目指す。 ○LINEWORKSの活用 グループトークを中心に議員と事務局で共有する「市議会グループ」をはじめ、委員会や会派などで作成するグループを通じて情報の即時共有を実践。 ○一般質問YouTube録画配信 前年度より引き続き、YouTubeによる定例会一般質問録画配信を実施。チャプター機能を活用し、興味のある質問を選べるように工夫。 ○AI文字起こしツールの活用 本会議・委員会などでAI文字起こしツールを活用し、議事録作成を効率化。 ➤事業評価 前年度同様に事業評価シートを使い各常任委員会にて実施。市長に対し、3.16に要望・提言書を提出 【総務産業】 地域おこし協力隊事業、シルクミュージアム運営事業 【教育民生建設】 自立支援事業、社会福祉協議会運営補助、民生委員会運営事業 ➤反問権及び政治倫理条例の検討 勉強会を実施。R5以降導入に向け引き続き検討を行う。 ➤議会個人情報保護条例の制定 デジタル社会形成整備法によって、個人情報保護法・行政機関個人情報保護法・独立行政法人等個人情報保護法が一本に統合されることに伴い、議会における個人情報の適正な取扱いに関し必要な事項を定め、議会の事務の適正かつ円滑な運営を図りつつ、個人の権利利益を保護するため、議会独自の個人情報保護条例を制定。
R5.6.8 ～ R6.3.19 【令和5年度】	議会機能向上推進委員会 全8回	①議会基本条例評価・検証に関すること 令和3年度の結果に基づき、継続的な議会改革とこれまでの取り組み等について全体で意識共有。 ②議会機能向上に関すること ➤政務活動費 旅費算出方法の統一、収入・支出票等の統一様式使用 ➤ICT等の推進（ICT部会を中心とした議会ICT化推進） ○タブレット端末及びペーパーレス会議システムの運用 5月より本格運用を開始。原則ペーパーレスとして、議会運営・議会業務の効率化、情報の即時共有、資料のペーパーレス化による環境配慮、議会機能強化の推進等を実践。

		○LINEWORKS の活用 昨年に引き続き、LINEWORKS による情報の即時共有を 実践。ノート機能による通知・連絡、カレンダー機能に よる全体スケジュールの共有、アンケート機能による日 程調整・安否確認、フォルダ機能による写真共有など、 コミュニケーションツールとして幅広く効率的に活用。 ○一般質問通告手続きのオンライン化 6 月定例会よりオンラインによる抽選・ヒアリング予約を 実施。 ○一般質問 YouTube 録画配信 昨年に引き続き、YouTube による定例会一般質問録画配 信を実施。配信期間を掲載から 5 年間に決定。 ○AI 文字起こしツールの活用 本会議・委員会などで AI 文字起こしツールを活用し、議 事録作成を効率化。 ○議場音響設備改修に係る検討 老朽化に伴う改修（デジタル化）について検討。先進事例 として松川町議場を視察 ➤反問権、政治倫理条例等 反問権の導入、政治倫理条例及び請負状況公開条例制定に ついて検討。令和 6 年 6 月定例会提案に向けて引き続き検 討 ③政策提言及び政策立案の推進に関すること ➤事業評価 前年度同様に事業評価シートを使い各常任委員会にて実 施。今年度は調査スケジュールを徹底し、10 月 27 日に市 長へ「要望・提言書」を提出。（回答：R5.12.19） 【総務産業】 移住・定住の促進、激甚化する災害へ の対策強化、地域防災力の強化、 【教育民生建設】 水道事業会計、子ども交流センター運 営事業 ➤議員研修 議会基本条例検証結果などを踏まえ、幅広い研修を全 6 回実施 ➤主権者教育の推進 こども未来会議の定着に向けた取り組みや議会を知っても らう取り組みを推進し、少しでも多くの方に興味を持って いただける機会を作っていこうと「ワクワク未来部会」を 設置。次年度に向け赤穂高校や駒ヶ根工業高校とのコラボ 事業の検討をはじめ、駒ヶ根青年会議所との意見交換を実 施。 ➤クールダウンミーティング 議会基本条例の検証結果から、議員間討議の活性化や政策 立案に向けた取り組みが課題となっている中で、議員間討 議のきっかけづくりとして、特別委員会終了後に実施。ま た、第 2 期総合戦略に係るチェックシートを通じ、基本目 標、施策に係る事業内容や目標値などを事前認識し、事業 の理解度向上や質疑内容の明確化などを図った。
R6.4.15 ～ R7.3.27 【令和 6 年度】	議会機能向上推進委員会 全 10 回	➤議会基本条例の検証 これまでの議会活動が条文の目的を達成しているかどうか について、条例施行後、2 回目となる検証を実施（初回は 令和 3 年度）。

		【評価・検証結果概要】 A：達成（概ねその目的を達成したもの） 11 B：一部達成（一部その目的を達成したもの） 15 C：未達成（目的を達成できなかったもの） 0 D：未着手（取り組んでいないもの） 2 E：評価対象外 10 ➤反問権の導入、政治倫理条例及び駒ヶ根市議会議員の請負の状況の公表に関する条例を、令和6年6月定例会で制定。 ➤議員研修 議会基本条例検証結果などを踏まえ、幅広い研修を全8回実施。 ➤主権者教育の推進（高校生未来会議） 選挙権年齢の引き下げにより、政治や選挙が身近なものになった高校生の皆さんに政治や議会活動を知ってもらう機会を提供するとともに、高校生の視点から広く政治について考え提案いただく中で、市議会として政策提言などにつなげていくことを目的として、実施。令和6年度は赤穂高校3年生（200名）とコラボし、9月～1月までの約4ヶ月間、総合学習の時間を活用し、政治や議会などの学習をはじめ、各グループにおいて設定したテーマに基づき、ワークショップなどを行った。最終的にクラス毎のアイデア選挙において選出されたクラス代表5グループが議場にて議員に向けてアイデアを提案し、議会として提案に対するフィードバックを行った。 ➤クールダウンミーティング 議会基本条例の検証結果から、議員間討議の活性化や政策立案に向けた取り組みが課題となっている中で、議員間討議のきっかけづくりとして、令和5年度に引き続き、特別委員会終了後に実施。また、必要に応じて、全員協議会終了後や高校生未来会議終了後に随時実施した。 ➤ツキニミーティング 事業評価に代わる新たな取り組みとして、予算の事前検証や決算の事後検証に向けて、市が実施している施策の現在地（現状・課題・方向性など）を横断的に把握しようと「ツキニミーティング」を実施。議員間での対話機会を増やすことも目的のひとつで、常任委員会ごと月2回を目標に実施した。 ➤市民と議会の意見交換会で出された意見を提出 駒ヶ根市議会全体での意見交換会1回、総務産業委員会1回、教育民生建設委員会2回の計4回開催し、テーマに関係する団体の皆さんとそれぞれ意見交換を行い、多くのご意見をいただきました。その中で市へ回答を求める必要があると判断した意見やお伝えした方が良いと判断した意見を、市長に対して提出。
R6.10～R7.3	議会基本条例評価・検証	R6.11/6～11/22 各議員による評価・検証 R6.11/25～12/20 各常任委員会による評価・検証 R7.1/7・24 議会機能向上推進委員会による、評価・検証まとめ R7.2/5・14・19 全協・議運 報告内容確認 R7.3/3 議長へ報告書を提出（ホームページにて公開）

2. 令和7年度議会機能向上推進委員会の協議事項及び要旨

月日	協議事項	要旨
第1回 R7.4.24	1. 令和6年度政務活動費収支報告書の内容について	令和6年度の収支報告書の内容を確認 ➤マニュアルの改訂を全協で議題としていきたい。
	2. ツキニミーティングの報告について	各委員長より報告
第2回 R7.6.5 (新委員にて開催)	1. 令和7年度事業計画について	○意見交換会について ➤意見交換会で出た意見を市へフィードバックすることについて整理した。 『広報広聴委員会』では、両常任委員会で出た意見をまとめ、市へ出していくのかを決めていく。 『議会機能向上推進委員会』では、事業評価やツキニミーティングを行う。 地区単位の意見交換については、今後検討をしていく。 ○条例づくり、政策立案について検討する部会 ➤「条例研究部会（仮）」を設置して、条例策定の必要性の研究・実現性を検討していく。政策立案までではなく、研究する部会。 ○ツキニミーティングについて ➤引き続き開催する ○ICT 部会 ➤6/5（木）AM11:00～ 部会開催、議会音響設備視察（辰野町議会） 6/24（火）午後 ○高校生未来会議について ➤議会日程から、候補日として、2年生へ令和8年3月23日、24日を設定 ○行政視察 ➤7月末から8月の期間で調整
	2. 政務活動費について	○マニュアルの見直し ➤「資料購入費」の新聞の取り扱いについて統一 「充当できない経費」その他 新聞購入費に、「※専門紙、業界紙は含まない」とする旨を追記する。 ➤「広報費」の政党の記載範囲。 政党名について、「経歴や記事について入れない方がよい」ということで決定 改定案は、事務局案を次回の会議までに検討していく。 ○あかつきの収支報告書について ➤派が解散した場合、4月分で使用しなかった分があった場合は、市への返金が必要であることを説明 ○収支報告書のホームページ公開について ➤令和7年6月末までにアップ予定
第3回 R7.7.2	1. 政務活動費の見直しについて	○マニュアルの見直し ➤マニュアルの変更箇所の内容を確認 ○収支報告書のホームページ公開について ➤令和7年7月中にアップ予定
	2. 条例研究部会（仮称）について	8名の応募があり、7月末までに、第1回目の会議開催予定。
	3. 行政視察について	○日 程 7月31日（木） 終日 ➤視察先 ①掛川市議会 『議会改革への取り組みについて』 決算常任委員会による事業評価、常任委員会（市長提言）、

		予算常任委員会の流れなど ②藤枝市議会 『議会改革への取り組みについて』 政策提言に向けた取り組みなど
	4. 意見交換会について	○対象団体・組織について ▶議会機能向上推進委員会で整理をし、広報広聴委員会と常任委員会で進めていくことを確認。 ○地区との意見交換について ▶北割一区、二区と、市場割区・上赤須区との開催案が出され今後、方向性を決定する。
	5. 一般質問について	○通告書（写し）の傍聴者への配布について ▶9月の傍聴のみで配布することで検討。 ICT 部会で一般質問の補足資料を議場で映し出すことを検討している。議会機能向上推進委員会へ今後提案をしていく。 ○一般質問の質問事項について ▶ 内容にダブリがあった場合は、局長より議運委員長へその旨を伝え、委員長が該当議員へ調整するようにする。切り口を変える調整。最終的に議運で決めていく。要望型ではなくて、提案型として議員が出していったほしい。時間があれば、再質問をしていくことで良いと思う。（議長より）
	6. 「2025 キャリアフェス in 駒ヶ根」への参加について	○10月30日（木） 10:00～16:00 赤穂中学校 ▶基本計画の目的を確認し、市議会として参加する目的を確認し、主催者教育とするか検討する。広報広聴委員会で対応の予定。
	7. その他	駒ヶ根市議会議員の請負状況の公表について該当なしと報告。ホームページへ公表をしていく。
第4回 R7.9.4	1. 行政視察の考察	○掛川市・藤枝市議会の取り組み ▶内容が盛りだくさんのため、正副委員長で視察事項の整理を行い、再度委員会内で検討する。
	2. 一般質問について	○通告書（写し）の傍聴者への配布について ▶1日目・2日目をまとめて配布していくことを、議運に諮り R7.12 月議会より実施することで進める。 ○一般質問の補足資料の表示について ▶提示する資料の数は、議員一人当たり3点までとして、議運に諮り 12 月議会より実施することで進める。上記内容を駒ヶ根市議会先例等に関する申し合せ事項の改正を実施。
	3. その他	▶上着について、着用しなくても良いなどの意見あり。全員協議会后に、議員へ確認をする。
第5回 R7.10.1	1. 今後の取り組みについて	○代表質問の実施と、予算決算常任委員会の設置について ▶時期尚早とのことで、まずは視察のまとめを行う。
	2. 一般質問について	○通告書（写し）の傍聴者への配布について ○一般質問の補足資料の表示について ▶12 月議会より実施することを確認。
	3. 議会開放について	▶全協で池田議員より、説明をしたのち進めていく。
	4. 各部会からの報告	○ICT 部会 部会長より報告。 ○ワクワク未来部会 部会長より報告。 ○政策検討部会 部会長より報告。
第6回 R7.11.5	1. 視察の考察について	○押田議員より、視察報告書により概要を説明。
	2. 委員会の今後の取り組みについて	○議会改革の取り組みの案について説明。 ・クールダウンミーティングから政策立案・提言へ。 ・代表質問について。

		・予算決算の常任委員会化について説明。 ➤議会の現状説明 →各会派に提案を持ち帰っていただき、意見を聞いていただく。駒ヶ根版の仕組みを次回の会議までに検討をする。
	3. 各部会からの報告	○ICT部会 ➤音響の更新を検討しているが、今後予算額の関係で内容の精査が必要。 ○ワクワク未来部会 ➤キャリアフェスの様子について報告。議員になった理由など議員から聞く機会であり、とても良いイベントであった。 ○政策検討部会 ➤武蔵野市、安曇野市、長野市の子ども権利条例について勉強会を実施。また、齊藤博教育長と正副議長・正副部会長が対話する機会を今後、調整する予定。
第7回 R7.12.3	1. 予算決算常任委員会化について	○各会派より出された意見を説明。 ➤目的や手順、スケジュールなどの検証が必要であることや、事務局負担が増えることが想定される等、慎重に進めることの意見あり。 ➤メリット・デメリット・課題について説明。また、現在の予算決算特別委員会の任務・課題についても併せて説明。 ➤決算特別委員会後に実施したクールダウンミーティングで出された意見等について説明。 ➤駒ヶ根版予算決算のサイクルのイメージについて説明。ポイントは、第5次総合計画の内容に沿って進められているかを主眼に置き、9月の決算特別委員会から年間の流れを説明。 今後、予算決算サイクルを進める部会で内容を詰めて行きたい。議員質問に第5次総合計画を入れて行うとか、予算決算を勉強していくと、資料・知識が蓄積されていく。各委員会の副委員長により、クールダウンミーティングの整理を進める方向。
	2 一般質問の代表質問について」	○会派等の意見は ➤会派若しくは常任委員会の形式で行うことに概ね賛成の意見が多い。また、質問形態や時期・時間割り振りなど検討が必要との意見あり。
	3 各部会からの報告	○ICT部会 ➤12/16部会開催予定。音響の更新についてと2月全協においての視察報告をWEBで実施することを検討予定。 ○ワクワク未来部会 ➤特になし。 ○政策検討部会 ➤12/24部会開催予定。
第8回 R8.1.19	1. 予算決算審査のサイクルについて	○年間サイクルの素案（R7決算 → R8予算への反映） ○ウォームアップ（ウォーミングアップ）ミーティングを実施していく ➤【①市民満足度調査（満足度と重要度の差が大きい項目）+②第5次総合計画（基本構想（基本目標・政策））の達成状況+③R7決算（クールダウンミーティングの反映）】

		○今後の予定 1 / 19 議会運営委員会へ報告 2 / 6 全協へ報告し確認 ・ R 8 予算審査の流れについて説明 2 / 16.17 財政課 予算勉強会（予定） 2 / 19 議長要請全協 ・ 全議員による予算の勉強会 【ウォームアップミーティング】 3 / 10.11 各常任委員会終了後、ツキニミーティングを開催 ・ ウォームアップミーティングで出た内容を、常任委員会で確認する。 （委員会として取り組んでいるテーマとの照合） 3 / 12 ~ 予算特別委員会 【クールダウンミーティング】 ※上記の方向で取り組むことで確認
	2. 各部会からの報告	○ I C T 部会 ▶音響設備の入れ替えについて ○ワクワク未来部会 ▶今後の予定説明 3 / 23（月）午後 高校生未来会議 24（火）午前 ○政策検討部会 ▶12 / 24、1 / 29 or 2 / 12 部会開催予定。
	3. その他	○一人で行った会派の視察報告について行った方が良いのではとの提案あり。 ▶今後検討する。
第9回 R8.3.26	1. 政務活動費について	
	2. 予算決算審査のサイクルについて	
	3. 令和7年度のまとめについて	
	4. 各部会からの報告	○ I C T 部会 ○ワクワク未来部会 ○政策検討部会

3. 議会基本条例に基づく継続的取り組み（議会改革の取り組み）

（１）「開かれた議会」として、市民との情報共有及び市民参加推進の取り組み

①意見交換会

○駒ヶ根商工会議所

日 時：令和7年9月26日（金）

会 場：駒ヶ根商工会館

テーマ：産業振興と市民生活

○駒ヶ根市社会福祉協議会（教育民生建設委員会）

日 時：令和7年10月9日（木）

会 場：駒ヶ根市役所

テーマ：駒ヶ根市社会福祉協議会の事業概要及び現状と課題について

○認定農業者の会（総務産業委員会）

日 時：令和7年10月20日（月）

会 場：駒ヶ根市役所

テーマ：駒ヶ根市の農業の現状と課題について

○駒ヶ根市社会福祉協議会訪問介護事業所ふれあい（教育民生建設委員会）

日 時：令和8年1月15日（木）

会 場：駒ヶ根市役所

テーマ：訪問介護事業の現状や課題

○ながいきケアヘルパー駒ヶ根（教育民生建設委員会）

日 時：令和8年1月16日（金）

会 場：駒ヶ根市役所

テーマ：訪問介護事業の現状や課題

○信州駒ヶ根暮らし推進協議会

日 時：令和8年1月20日（火）

会 場：アイパル

テーマ：「空き家」の現状と対策について

②市議会だより（議会広報モニター）

「“もっと”読みたくなる“もっと”わかりやすい議会だより！」を編集方針に、議会広報モニターのご意見を参考にしながら、市民目線に立ったわかりやすい誌面づくりを推進。

【主な内容】

・令和6年度から委嘱した17名の議会広報モニターに参加いただき、10月25日にモニター会議を開催

- ・議会広報モニターへ本会議の傍聴案内
- ・「中央アルプス駒ヶ岳」をテーマとした表紙を掲載
- ・12月6日に、議会モニターによる議場スピーチを実施。4名の方が、議場演壇席より駒ヶ根のまちづくりに関する提案を発表。市長・副市長も傍聴席より傍聴

③出前講座（議場見学）

多くの方に議会を知ってもらう取り組みとして随時実施。

【実施状況】

- ・12月18日（木）赤穂南小学校3年生 57名
- ・2月5日（木）赤穂東小学校3年生 73名

④高校生未来会議

新たな取り組みとして、選挙権年齢の引き下げにより、政治や選挙が身近なものになった高校生の皆さんに政治や議会活動を知ってもらう機会を提供するとともに、高校生の視点から広く政治について考え提案いただく中で、市議会として政策提言などにつなげていくことを目的として、令和6年度より実施。

今年度は赤穂高校2年生（196名）を対象に、半日の二日間で実施。1日目に、概要説明、アイスブレイクを行い、その後「高校生が通って・使って・関わる駒ヶ根市をもっと良くするには？」についてグループワークを実施。2日目は、引き続き5～6グループにおいて設定したテーマに基づきグループワークを行い、各クラス内でアイデアを発表した。

【開催スケジュール】

- ・第1回 3月23日（月）（政治・議会概要説明、アイスブレイク、グループワークほか）
- ・第2回 3月24日（火）（グループワーク・発表、意見交換）

（２）「言論の府」及び「立法の府」として、徹底した議論及び政策提言の取り組み

①クールダウンミーティング

令和5年度から始まったが、引き続き、議会基本条例の検証結果から、議員間討議の活性化や政策立案に向けた取り組みが課題となっている中で、議員間討議のきっかけづくりとして、また、どのような視点で審査したか、審査を通じてどのような感想を持ったかなどお互いに認識する機会として、9月定例会決算特別委員会及び3月定例会予算特別委員会においてクールダウンミーティングを実施。また、必要に応じて、全員協議会終了後や高校生未来会議終了後に随時実施した。

②ツキニミーティング

事業評価に代わる新たな取り組みとして、令和6年度に引き続き実施。予算の事前検証や決算の事後検証に向けて、市が実施している施策の現在地（現状・課題・方向性など）を横断的に把握しようと「ツキニミーティング」を実施。議員間での対話機会を増やすことも目的のひとつで、常任委員会ごと月2回を目標に実施した。市役所以外の場所で実施すること、服装自由、発言者の話はしっかり聴く、相手を侮辱する発言・感情的な発言・否定する発言はしない、相手の

立場に立ちそれぞれの考えを理解した上で発言する、沈黙歓迎、結論が出なくても OK など、独自ルールのもとに「まずはやってみよう！」の精神で実践。

③ウォームアップミーティング【NEW】

前年度決算審査が、どのような視点で審査されたのか、また、その審査の中でどのような課題が出たのかを新年度予算審査の前に振り返り、『市民満足度調査』『総合計画』と照らし合わせながら、共有の課題をもって予算審査に臨む準備の機会とするために令和8年2月に実施をした。今後、取り組みの検証を行っていき、より良い機会としていく。

④一般質問通告書の写しの配布【NEW】

議員が行う質問内容を少しでも理解していただけるよう、12月議会より、傍聴者へ一般質問通告書の写しの配布を始めた。

⑤請負の状況の公開に関する条例制定後、初めての公表【NEW】

地方自治法改正に伴い、議員が市に対し請負をする者又はその支配人である場合における請負の状況を公表することにより、請負の状況の透明性を確保し、議会運営の公正及び事務執行の適正を図ることを目的として6月定例会制定。令和7年7月に公表を行った。

⑥議員研修

議会基本条例検証結果などを踏まえ、幅広い研修を積極的に実施。

月日	内容	講師等
4月9日(水)	会派政務活動報告会 【至誠会(無会派)、アルプス(無会派)】	
7月4日(金)	「市町村の都市計画に関する基本的な方針」 「都市計画マスタープラン」について	講師：都市計画課・企画振興課・商工観光課・農林課・上下水道課 各担当
8月1日(金)	○新病院建設について【AM】 ○「エーデルこまがね」の施設見学および現状について【PM】	伊南行政組合、昭和伊南総合病院及び建設部(建設課・都市計画課) 社会福祉法人すずらん福祉会理事長 松川常夫 氏
10月2日(木)	○データに基づく駒ヶ根市の現状と課題について ～議会が考えるべき政策とは?～	(一社)地方公共団体政策支援機構 渡辺 太樹 氏【1回目】
11月4日(火)	○委員会他行政視察及び会派政務活動報告会 【議会機能向上推進委員会、創風すずらん(無会派)、至誠会・三鏡会(無会派)、改進黨、広島平和記念式典、全国議長フォーラム】	
1月8日(木)	○議会が行うべき予算・決算審議について ～データに基づく財政及び総合計画との関連～	(一社)地方公共団体政策支援機構 渡辺 太樹 氏【2回目】
2月6日(金)	○委員会他行政視察及び会派政務活動報告会 【総務産業委員会、教育民生建設委員会、アルプス(無会派)】 (Zoom 開催)	

⑦先進地行政視察

【総務産業委員会】

日 程：11月17日（月）～19日（水）

視察先：①長浜市地域公共交通計画について、おでかけワゴンについて（滋賀県長浜市）

②集落営農活性化プロジェクト、環境保全型農業の推進、
有害鳥獣対策と地元民間企業との連携（福井県あわら市）

③「にぎわいの里のいち カミーノ」、
10周年記念野々市開催のシンポジウムについて（石川県野々市市）

【教育民生建設委員会】

日 程：10月23日（木）・24日（金）

視察先：①地域共生社会に向けた豊中市社会福祉協議会の取組について（大阪府豊中市社会福祉協議会）

②多世代型地域食堂 ごはん処おかえりの取組について（大阪府豊中市）

③地域包括ケアと DX の総合的運用について（奈良県北葛城郡広陵町）

【議会機能向上推進委員会】

日 程：7月31日（木）

視察先：①議会改革の取り組みについて＜静岡県掛川市議会＞

②議会改革の取り組みについて＜静岡県藤枝市議会＞

【議会機能向上推進委員会（ICT部会）】

日 程：6月24日（火）

視察先：議場音響設備について＜辰野町議会＞

⑧行政視察受入れ

今年度より、議会に関する視察（議会改革・機能向上・議会広報など）受入れの際は、全議員へ周知し任意で同席いただく中で、お互いの課題共有や意見交換など、議員同士の交流につながる場とした。

【令和7年度受入れ実績】

No.	月日	団体名		人数	内容	担当部署	備考
1	5月8日	伊那市議会	広報委員会	9	市民に伝わる議会だよりについて	議会事務局	
2	6月26日	福島県埴町議会	総務常任委員会及び経済常任委員会	15	公共交通システムの取り組みについて	総務部企画振興課	
3	7月23日	伊那市議会	人口減少対策特別委員会	12	・移住×婚活の取り組みについて ・えがお出会いサポート事業について	総務部企画振興課	
4	7月24日	滋賀県高島市議会	真志会	2	企業誘致の取り組みについて	産業部商工観光課	
5	8月5日	山梨県上野原市議会	文教厚生常任委員会	12	少子化について	総務部企画振興課	
6	10月14日	大町市議会	議会運営委員会・議会だより編集委員会	13	・議会改革について ・広聴広報委員会の取組みについて	議会事務局	
7	10月29日	島根県益田市議会	総務文教委員会	7	公共ライドシェア（meemo駒ヶ根）実証実験について	総務部企画振興課	
8	11月6日	島根県出雲市議会	議会運営委員会	11	議会運営・議会活性化について 高校生会議（主権者教育）について	議会事務局	
9	11月11日	松本市議会	厚生委員会	10	結婚支援事業について	総務部企画振興課	
#	12月22日	栃木県矢板市議会	議会運営委員会	10	・クールダウンミーティングについて ・事業評価について	議会事務局	
#	1月22日	新潟県妙高市議会	議会運営委員会	9	議会運営と議会改革について	議会事務局	
#	2月5日	和歌山県串本町議会	文教厚生常任委員会	8	健康長寿の取組について	民生部地域保健課	
#	2月12日	佐久市議会議員・（一社）佐久産業支援センター		4	・こまがね健康ステーションについて ・健康経営に関する取り組みについて	民生部地域保健課 総務部総務課	Z o o m
				122			

⑨その他

○2023 議会改革度ランキング

全国74位／1544（昨年：128位）【長野県5位／55（昨年：8位）】

（3）議会 ICT 化の取り組み（ICT 部会）

①タブレット端末及びペーパーレス会議システムの運用

タブレット端末（SurfacePro8）及びペーパーレス会議システム（moreNOTE）による運用。原則ペーパーレスとして、議会運営・議会業務の効率化、情報の即時共有、資料のペーパーレス化による環境配慮、議会機能強化の推進等を実践。

②LINEWORKS の活用

LINEWORKS による情報の即時共有を実践。ノート機能による通知・連絡、カレンダー機能による全体スケジュールの共有、アンケート機能による日程調整・安否確認、フォルダ機能による写真共有など、コミュニケーションツールとして幅広く効率的に活用。

③一般質問 YouTube 録画配信

YouTube による定例会一般質問録画配信を実施。

④AI 文字起こしツールの活用

本会議・委員会などで AI 文字起こしツールを活用し、議事録作成を効率化。

⑤一般質問通告手続きのオンライン化

オンラインによる抽選・ヒアリング予約を実践。

⑥議場音響設備改修に係る検討【NEW】

老朽化に伴う改修（デジタル化）について検討を行うため、令和 7 年 6 月に辰野町議会の音響設備を視察した。令和 7 年度になり、さらに音響設備の調子が悪くなり、総務課と調整を行い、令和 8 年度当初の総務課予算として計上され、令和 8 年 9 月定例会に間に合うように更新する予定。

⑦一般質問補足資料の表示についての検討【NEW】

令和 7 年 12 月定例会より、議場内で補足資料を臨時的に設置するモニターにより、表示を開始。①通告書の写し及び②希望した議員の一般質問補足の資料を表示。実施するに当たっての運用ルールなどを部会として検討。

⑧Z o o mによる部会の開催【NEW】

10 月に開催した部会については、WE B（Z o o m）により実施。この部会での経験を活かし、議会全員協議会において全議員による WE B 会議の開催を実施していくための検討を行った。その結果、令和 8 年 2 月の全協については、WE B により開催。

（４）政策検討部会の立ち上げ

6 月に「条例研究部会（仮称）」として部会員の募集を行い、8 名の議員で検討を始めた。名称を政策検討部会とし、「こどもの権利条例」について研究していくことで、5 回の部会を開催し、県内外のこどもの権利条例の内容、事例などについて勉強をした。

（５）議会本会議や委員会等における服装について

令和 7 年 4 月 1 日より、職員の服装について、通年にわたって、ノーネクタイ等の働きやすい服装での勤務を可とし、また、ネクタイ・スーツ等の着用を一律に禁止するものではないとの扱いになっていることから、議会としての対応を検討。

議会本会議等（委員会を含む）については、通年を通して、上着及びネクタイの着用は要しない。（R7.9.22 議運）とした。

（６）情報セキュリティ基本方針の検討

地方公共団体のネットワークにおけるサイバーセキュリティ確保のための方針（以下「情報セキュリティポリシー」という。）の策定については、各地方公共団体に策定の判断が任されてきたが、令和 6 年 6 月の地方自治法の改正により、地方公共団体の議会及び執行機関に対し、情報セキュリティポリシーの策定が義務付けられたところから、「駒ヶ根市議会情報セキュリティ基本方針」を策定した（令和 8 年 4 月 1 日から施行）。

4. 次年度も継続して検討する事項

(1) 情報公開・市民参加

①意見交換会

常任委員会毎の意見交換会を継続しつつ、他団体・組織との意見交換について検討する。
＜地区単位（希望制で区役員）、親子講座、農業委員・民生委員他、社協、昭和伊南病院、観光協会 など＞

②主権者教育

今年度開催した高校生未来会議、キャリアフェスなどを踏まえ、ワクワク未来部会を中心に進めていく（令和8年度はどのようにするか）。

③議会報告会

議員4年任期の最終年となることから、広報広聴委員会を中心に検討（時期・時間・内容・周知方法など）を行っていく。開催に向けて準備を進める。

(2) 議員間討議・政策提言

①ツキニミーティング、クールダウンミーティング、ウォームアップミーティング

引き続き実施する（予算委員会クールダウンミーティングで共有した課題を次年度テーマに掲げツキニをスタートすることも検討）。

②政策立案・提言

テーマ設定をして検討をしていくか協議が必要。

③議員研修

令和8年2月に実施した研修アンケート結果を参考にし、研修会・勉強会の計画を策定。
広報広聴委員会と連携し進めていく。

④行政視察

4月～5月の段階で、企画をしていく。

⑤予算決算の年間サイクルの検討

令和7年度に掛川市・藤枝市議会を視察し、検討を始めた予算決算のサイクルについて、引き続き検討を行っていく。また、3月に実施したウォームアップミーティングの検討を行い、決算特別委員会に向けた準備を検討していく。

⑥代表質問

常任委員会または会派による代表質問について、他市町村の取り組み事例など研究し、検討をしていく。

(3) 議会監視・評価機能

①議会基本条例評価・検証

第11条第1項第4号政策提案の説明要求の規定（コスト計算）について、コスト計算・費用対効果の検証は難しい部分であり、今後、市の事業評価も踏まえ検討する。併せて、今回の評価・検証時期についても検討する。

②事業評価

現時点では実施しない（市の事業評価の状況を見る）。ツキニ→意見交換→行政視察→必要に応じて提言…のサイクル確立に向けて検討する。

③請願・陳情等

提案者の説明・質疑の機会について他事例を参考に検討する。

（４）災害時対応

①災害時危機管理指針、行動マニュアル、訓練

火災時の議員対応をはじめ、年１回は指針やマニュアル確認、オンライン会議を実践する方向で検討する。

（５）機能向上

①タブレット端末（ペーパーレス会議システム）、LINEWORKS

引き続き ICT 部会を中心に、議場音響機器の更新（モニター活用）、LINEWORKS 有料版導入検討などを行う。オンライン委員会の傍聴について、運用ルールの検討を行う。

②情報セキュリティポリシーの対策基準の策定について

ICT 部会を中心に検討を行っていく。

③その他

- ・駒ヶ根市議会傍聴規則の改正
改正について検討する。
- ・請願・陳情等のオンライン化対応
ICT 部会において検討する。